

2024 年度北海道 NPO ファンド「小林董信基金」応募要領

◆「小林董信基金」の趣旨

NPO 法人北海道 NPO サポートセンターの創設者であり、長きにわたり事務局長を務められ、北海道の NPO 活動の基礎づくりに多大な貢献をされた故・小林董信氏を偲び、その足跡と功績を後世に伝えるため基金を造成しました。小林董信氏が実践した「人を育てる」「人を応援する」ことを目的として助成を行います。

*小林董信(こばやし しげのぶ)氏

北海道に NPO を広めた立役者。31 歳で共同購入団体「たまごの会」を立ち上げ、35 歳のときに「生活クラブ北海道」を設立(初代専務理事、90 年退任)。1998 年北海道 NPO サポートセンター設立(初代事務局長)。「世の中を変える」ことを原動力に活動していた社会活動家。2021 年 6 月に永眠。

小林さんは「NPOには上下関係は存在しません。相互依存関係のネットワーク組織です」「既存のあらゆる価値観から脱却してオルタナティブを提起するのもNPOの役割」「NPO が事業を担うことで地域の柔軟な市民力を高め、どのような環境の変化にも負けない生き生きとした地域をつくるのが本来の目的」「眠っていた市民の力が目覚め、鍛えられていくことが NPO の活動の一つの大きな意味」など多くの言葉を遺されました。この基金は小林さんの事績を後世に伝えるとともに、その理念を受け継ぐ人材輩出を目指しています。

～基金造成にあたっては、小林郁子氏による北海道 NPO サポートセンターへの総額 500 万円の寄付のお申し出がきっかけとなり、多くの市民、団体からの寄付をいただくことができ、このたびの将来を見据えた基金造成につながりました。～

◆今年度の助成方針

下記、二つの助成プログラムを実施します。

1. 新規プロジェクト支援助成

○助成内容:

特定の目的、問題意識を持っている団体が新規のプロジェクトに挑戦するための助成を行います。

次世代リーダーの育成を目的とした助成として、団体リーダーへの支援がセットになった助成プログラムです。

※年齢制限はありません。

※リーダーへの支援として、組織基盤強化や、課題のブラッシュアップ、出口戦略の構築などの伴走支援を行います。

○助成使途:

利用目的が当基金の趣旨に合致しており、かつ申請目的の実現に必要なであれば、使途は問いません。

○応募資格:道内で活動している設立後 3 年以内の NPO(NPO 法人・任意団体等)を対象とします。

※一般社団法人・一般財団法人は「非営利型」のみ応募可能です。

※公益性のない事業、営利を目的とした事業、政治、宗教、思想等の目的に偏る団体・事業などは助成の対象となりません。

※新規に団体を設立して申請することも可能です。

○助成額:総額 300 万円/3 団体(1 団体の上限は 100 万円)

○その他:単年度助成ですが、2023 年度、24 年度採択された方であっても、2025 年度に応募することが可能です。

2. 個人の能力向上支援助成

○助成内容:

より良い社会づくりのため、自発的に活動する個人に対し、助成を行います。個人として実現したい活動、および活動の実現のための必要となる能力の向上について助成します。

○助成使途:

社会活動の次世代担い手育成を目的として、助成金の使用用途は下記を想定しています。

・外部の研修プログラム参加費用(国内外視察交通費など諸経費も含む)

・自らのアイデアを形にするための費用

・自ら設計した研究やフィールドワークなど、個々の知見、スキルを高めるもの。

※利用目的が基金の趣旨に合致し、申請内容の実現に必要なであれば、使途は問いません。

○応募資格:個人。

※公益性のない事業、営利を目的とした事業、政治、宗教、思想等の目的に偏る事業の実施を目的とした活動は助成の対象となりません。

○助成額:総額 50 万円/2 名(1 名の上限は 25 万円)

○その他:単年度助成ですが、2023 年度、24 年度採択された方であっても、2025 年度に応募することが可能です。

- ◆**応募期間** 2024 年 2 月 19 日～3 月 19 日(火)午後6時【**必着**】
- ◆**応募方法** 応募期間内に応募書類と添付書類を下記提出先まで原則としてメールにてご提出ください。
<1. プロジェクト支援助成の添付書類>
 - ① 団体の定款又は会則【**必須**】
 - ② 前事業年度の事業活動報告書・決算書類【**必須**】
 - ③ ニュース・会報、団体リーフレット、チラシ等、団体の活動の内容を示す資料(任意)
- ◆**選考方法** 書類審査後、面談審査(3 月中旬～下旬を予定)を行い、助成先を決定します。なお、応募書類受領後、問い合わせをさせていただく場合がございますので、その場合は応答のほどご協力お願いいたします。また参考として、昨年の面談審査では、申請者のみなさんにグループワークをしていただきました。
- ◆**選考の視点** 北の NPO 基金審査基準に則って審査します。ただし、この助成金においては、申請者の個性を重視します。グループワークにおいて、自身やプロジェクトの目指すもの、さらには他の申請者の主張や目標に関心を持つことができるかを見ました。NPO 活動にあたっては、自分のしたいことだけでなく、自分にはないものをもった個人や団体との連携・協働が不可欠です。
- ◆**決定通知** 2024 年 3 月下旬(助成先は個別に通知するとともに、北海道NPOファンドホームページ、『北海道NPO情報』等で広報します。応募提出書類は返却いたしません)
- ◆**助成金支払い** 2024 年3月下旬から 4 月下旬(予定)
- ◆**助成期間** 2024 年4月1日～2025 年3月31日
- ◆**活用結果報告書の提出** 助成先団体におかれましては、助成金活用後、「活用結果報告書」を提出していただきます。なお、ご了解を得たうえで、北海道NPOファンドホームページやパンフレット等で紹介させていただく場合もあります。

◆お問合せ先／応募用紙提出先 応募用紙の提出は郵送、持参または E-mail でお願ひします。なお、応募用紙は下記 URL からダウンロードすることができます。

小林董信さんを偲ぶホームページ <https://www.npoproject.hokkaido.jp/k.shigenobu/>

認定 NPO 法人北海道 NPO ファンド

〒064-0808 札幌市中央区南 8 条西 2 丁目 5-74 市民活動プラザ星園 201 号室
<https://npoproject.hokkaido.jp/> メール npofund@npo-hokkaido.org
TEL:011-200-0973 FAX:011-200-0974 担当:高山、遠藤

2023年度 第1回小林董信基金 採択者

■個人の能力向上助成(総額 50 万円)

- 西村幹也 「しゃがぁカレッジ」創設
- 駒谷漢人 「健常」と「障がい」の間から見える世界を広げる
- 高橋智美 道内・全国各地の共生社会を目指す活動をしている団体の視察
- 高橋亜由美 NPO 団体の発信力向上の支援

■新規プロジェクト助成(総額 200 万円)

- NPO 法人コミュニティシンクタンクいんくるらぼ(安平町) 「安心できる住まい」「美味しい食事」「自分らしく働ける仕事」誰もが福祉(幸福)を享受できる地域共生社会モデルの構築
- NPO 法人ミラココ(豊富町) みんなが見守るひとりの空間～ミラ小個ココ 個室プロジェクト～
- 北海道小児膠原病の会(札幌市) 膠原病の子どもの交流および Web サイト「膠原病の子と家族のためのページ」作成
- NPO 法人道産子ヒーロープロジェクト(札幌市) 多胎児育児支援事業の開発

北海道 NPO ファンドは、4 月 13 日理事会を開催し、第 1 回となる小林董信基金の採択者を決定しました。このたびの選定では、小林董信基金の趣旨に鑑み選定委員のみなさんに選定プロセスづくりに積極的に取り組んでいただきました。

■選定会議のプロセス

12 月 26 日の書類審査会議(オンライン)においてプレゼンテーション審査の進行について決定し、1 月 16 日 24 日両日に行われた個人・新規プロジェクトすべてのプレゼンテーションの後、選定委員が合議により総合的に判断して内定者を決めました。選定は、オンラインにより 1 月 24 日 19:30 から 20:30 まで行われました。

プレゼンテーションの内容

- ・12 月 26 日に、申請者を 4~5 人のグループに分け、グループワークを行うことになりました。
- ・グループワークでは、「2 分間のプレゼン」「他の申請者への質問」「他の申請者ワークのまとめコメント」「他の申請者への投票」を行う。

以上の方法により

- ・1 月 16 日に個人 1 人、団体 3 からなるグループワークを 1 回実施しました。
- ・1 月 24 日に個人 2 グループ(8 人)、団体 3 グループ(15 団体)のワークを実施しました。

■小林董信基金はみなさまのご支援によって運営されています

小林董信基金は、次代を担う人材を輩出することを目指しています。

https://npoproject.hokkaido.jp/?page_id=2301



